

先進医療のご案内

「ハイパードライヒト乾燥羊膜を用いた外科的再建術 再発翼状片」

富山大学附属病院眼科では、今年の4月より上記のとおり、再発翼状片に対する治療として富山大学で独自に開発したハイパードライヒト乾燥羊膜を用いた手術を行っています。

再発翼状片は、また再発する可能性が高いので、羊膜を用いて再発を予防する処置をすることが望ましいと考えられます。

本手術の特徴は、乾燥羊膜を用いることでより容易に手術を行うことができます。

先進医療は厚生労働省より認められた治療であり、保険診療を併用できますが、先進医療部分は自己負担あるいは生命保険（先進医療特約を付加している場合）の負担になります。生命保険から出るかどうかなど詳しいことは、ご自身のご加入の生命保険会社にご相談ください。自己負担額は10万円になりますが、日本で富山大学でしか受けられない治療法であり、翼状片の再発を抑える効果が期待されています。

翼状片の手術後に再発してしまったが、再手術をしてもまた再発する心配があるので手術をためらっている患者さんには、朗報となる治療法です。もちろんこの手術で再発がゼロになることが保証されているわけではありませんが、かなり再発を抑えられるのではないかと予想しています。